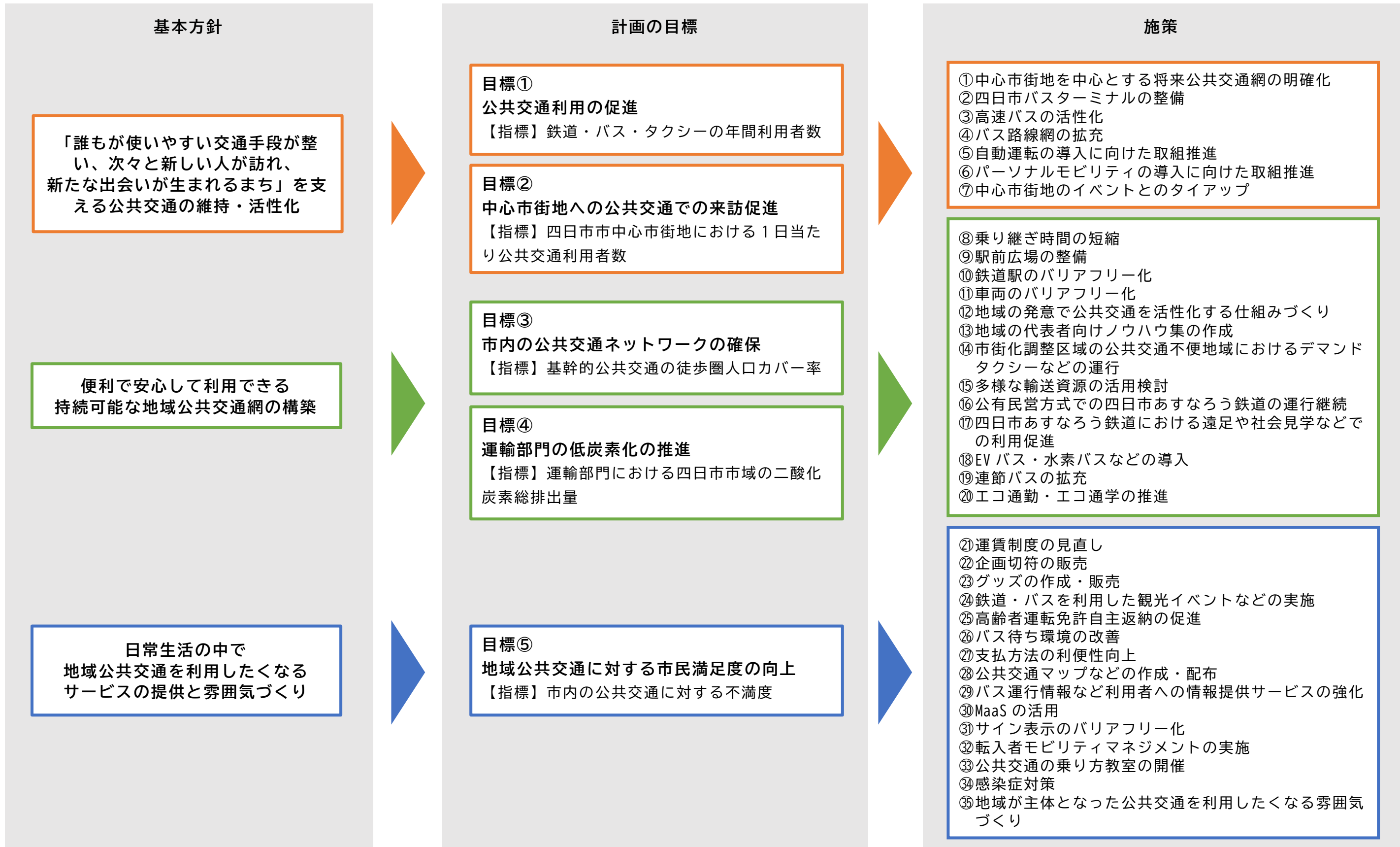


四日市市地域公共交通計画「本体」  
(該当箇所を抜粋)

# 10. 目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項

## (1) 基本方針と施策の関係



### (3) 各施策の概要

1) 「誰もが使いやすい交通手段が整い、次々と新しい人が訪れ、新たな出会いが生まれるまち」を支える公共交通の維持・活性化

#### ① 中心市街地を中心とする将来公共交通網の明確化

項目	概要
目的	本市内の地域公共交通のネットワークと各路線の役割を明確化することで、本市の目指すべき将来像を関係者間で共有するとともに、路線別の評価を行う際の目安とすることを目的とする
実施概要	各路線に求める役割を明確化
実施主体	鉄道事業者、バス事業者、タクシー事業者、NPO、市民、企業、市



図 公共交通ネットワークイメージの機能分類

【地域公共交通の役割と確保・維持策】

位置付け	路線名	モード	主な役割	確保・維持策
広域幹線軸	近鉄名古屋線	鉄道	・地域公共交通を末端交通とし、県を跨ぐ広域の移動を担う	・交通事業者が主体となって、需要に応じた運行水準を確保する。
	JR 関西本線	鉄道		
都市間幹線	三岐鉄道三岐線	鉄道	・本市中心市街地や主要駅と周辺市町を連絡する移動を担う ・市町村間の連携の強化や本市中心市街地の求心性の維持を図る役割	・関係市町村や交通事業者と本市が協働して利用促進を図る。 ・特に、地域間幹線系統に指定されているバス路線は、輸送量などを維持する。
	近鉄湯の山線	鉄道		
	伊勢鉄道伊勢線	鉄道		
	四日市平田線	バス		
	水沢（室山）線	バス		
	四日市福王山線	バス		
	名古屋桜台高速線	バス		
	名古屋湯の山高速線	バス		
	四日市中部国際空港線	バス		
	四日市大阪高速バス	バス		
	三重京都高速線	バス		
市内幹線	四日市あすなろう鉄道内部線	鉄道	・臨海部に南北に広がる市街地や市街化区域縁辺部の主要住宅団地と中心市街地を連絡し、市民の暮らしの利便性を高める役割 ・大規模工場、教育施設、医療施設など主要な施設と中心市街地を連絡し、市民や本市を訪れる住民の利便性を高め、都市の活力を維持する役割	・交通事業者を中心に維持する。 ・本市は、交通事業者と協働で市民が使いやすいサービスを実現し、利用促進を図る。
	四日市あすなろう鉄道八王子線	鉄道		
	かわしま線	バス		
	小杉線	バス		
	羽津山線	バス		
	三重団地笹川線	バス		
	泊山医療センター線	バス		
	美里あがたヶ丘線	バス		
	水沢（笹川）線	バス		
	桜花台線	バス		
	山之一色線	バス		
	四日市大学線	バス		
	桑名西高校線	バス		
	川越高校線	バス		
	イオンモール東員線	バス		
暁線	バス			
まちなか交通	四日市市内線	バス	・中心市街地内を運行することで、まちなかの移動を支援し、中心市街地の活性化を支える役割 ・中心市街地と臨海部を連絡し、都市と港が一体となったまちづくりを支える役割	・交通事業者を中心に、中心市街地来街者が使いやすいサービスを維持する。
	市内循環線	バス		
	東日野四日市港線	バス		
	市立病院四日市港線	バス		
	新モビリティ（自動運転車両）	バス		
地域内交通	山城富洲原線	バス	・市街地内の交通空白地域、市街化区域縁辺部の住宅団地、郊外部において、主に移動制約者が身近な生活に必要な外出を支える役割	・本市の地区ごとのまちづくりと連携し、地域が主体となって現在の路線を維持する。 ・現在地域内交通が運行していない地域で、今後新たな交通が必要となる地域では、地域が主体となって導入・維持・活性化を図る。 ・市は財政面での支援にとどまらず、法律的な知識・全国的な事例の紹介などノウハウの提供、必要なアドバイスなど、地域の活動を総合的に支援する。 ・市や事業者の運営努力だけでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持改善事業（フィーダー補助）により運行を確保・維持する必要がある、同事業を活用し、需要に応じた運行水準を確保する。
	神前高角線	バス		
	磯津高花平線	バス		
	生活バスよっかいち	バス		
	こにゅうどうくんライナー	バス		
地域限定交通	四日市市デマンドタクシー	デマンド	・市が主体となって、市街化調整区域の公共交通不便地域の需要に応じた移動手段を確保する。	